


2019年度(令和元年度)
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業  文部科学省

新進バレエダンサー育成並びに
バレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

報告書

ごあいさつ

日本バレエ団連盟は、昨年9月で法人設立から5年が経過いたしました。設立の翌年度より、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、海外優秀指導者による新進バレエダンサーへのマスタークラス開催と、バレエ団運営における基盤整備に向けた調査・研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面から人材育成を継続して行っています。

ダンサー育成としては、2015年度より海外の優秀指導者を招へいしバレエ団でのマスタークラスを実施していますが、本年度は3名の指導者を招へいし、その成果を一般に公開いたしました。また、優秀な新進バレエダンサーが、自身の身体の弱点を知り、その能力を十分に発揮できるよう、ダンサー向けの身体のメンテナンスセミナーを実施いたしました。

運営基盤整備に向けた取り組みとしては、アジアの都市におけるバレエ団の事例として、香港・シンガポールの代表的なバレエ団における運営実態を調査するとともに、日本においてバレエ団運営スタッフを対象とした、企業目線からのファンディングセミナーを実施いたしました。

日本においてダンサーやスタッフが心置きなく創造活動に専心できる環境の実現を目指し、引き続き、尽力させていただく所存です。今後とも、関係各位の一層のお力添え、ご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本事業にご理解を賜り、快くご協力をくださいました皆様に、深く御礼申し上げます。

2020年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

目次

● ごあいさつ

● 事業概要

1章 マスタークラス実施報告

- 1-1 概要……5
- 1-2 ローラン・フォーゲル氏によるマスタークラス・公開レッスン……5
- 1-3 アンドレイ・クレム氏によるマスタークラス・公開レッスン……9
- 1-4 パトリック・アルマン氏によるマスタークラス・公開レッスン……12

2章 香港・シンガポールのバレエ団運営に関する調査報告

- 2-1 概要……19
- 2-2 香港バレエ団……19
- 2-3 シンガポール・ダンス・シアター……38

3章 セミナー実施報告

- 3-1 バレエ団運営スタッフ向け ファンドレイジングセミナー……53
- 3-2 バレエダンサー向け 身体のメンテナンスセミナー……55

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者（2019/2020シーズン現在）……63

2019年度（令和元年度） 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

事業概要

1. 事業名

新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成

2. 事業の趣旨・目的

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育ち、国際的に活躍している。その背景に、多くの優秀なバレエダンサーが海外に活躍の場を求めている現状があり、日本のバレエ団の運営基盤整備が求められている。

本事業は、日本バレエ界全体の芸術水準向上とさらなる発展を目指し、新進バレエダンサーの育成と、バレエ団運営に携わるマネジメント人材の育成を2つの大きな軸として、ダンサーと制作運営という両面から舞台芸術を支える人材の育成を行うものである。

新進バレエダンサーに対しては、プロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力の育成を図るために、海外優秀指導者によるマスタークラスを実施し、その成果を、将来プロを目指す若手ダンサーとその指導者に対しても公開する。また、優秀な新進バレエダンサーが、自身の身体の弱点を知り、その能力を十分に発揮できるよう、ダンサー向けの身体のメンテナンスセミナーを実施する。

マネジメント人材の育成としては、各バレエ団が運営体制の改革に踏み出すために参考となる海外事例を調査するとともに、運営スタッフを対象としたファンドレイジングをテーマにしたセミナーを実施する。

3. 事業の内容

(1) マスタークラスの実施

指導：ローラン・フォーゲル、アンドレイ・クレム、パトリック・アルマン

対象：東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、貞松・浜田バレエ団、東京シティ・バレエ団、井上バレエ団、小林紀子バレエ・シアター（実施順）

(2) バレエ団運営に関する調査

・香港におけるバレエ団運営の事例調査

調査対象：香港バレエ団

・シンガポールにおけるバレエ団運営の事例調査

調査対象：シンガポール・ダンス・シアター

(3) セミナーの実施

・バレエ団運営スタッフ向け ファンドレイジングセミナー

講 師：企業メセナ協議会 常務理事兼事務局長 澤田澄子氏

・バレエダンサー向け 身体のメンテナンスセミナー

テ ー マ：テクニック改善に！“踊るカラダ”チェック～足部を中心に

企画協力：NPO法人芸術家のくすり箱

講 師：鍋田友里子氏（理学療法士）

■ 調査会議委員

安達 悦子 （東京シティ・バレエ団）

岩永 智博 （東京バレエ団）

小山 久美 （スターダンサーズ・バレエ団）

黒澤 希 （牧阿佐美バレエ団）

小林 健太 （小林紀子バレエ・シアター）

堤 悠輔 （貞松・浜田バレエ団）

諸角佳津美 （井上バレエ団）

山本 千絵 （東京シティ・バレエ団）

廣瀬 智子 （日本バレエ団連盟事務局）

1章 マスタークラス実施報告

1章 マスタークラス実施報告

1-1 概要

あらゆるスタイルに対応できる技術と柔軟性を養うことを目的として、プロフェッショナルダンサーとしての活躍が期待される若手を対象に、海外優秀指導者によるマスタークラスを実施した。今年度は、2015～2018年度の招へいでダンサーおよび指導者に多大な影響を与えてきたモナコ・プリンセス・グレース・バレエ・アカデミー教師のローラン・フォーゲル氏、並びにサンフランシスコ・バレエ・スクール校長のパトリック・アルマン氏を継続して招へいするとともに、バレエ指導者として世界的に評価が高いパリ・オペラ座バレエ団教師のアンドレイ・クレム氏を加え、3名の講師を招へいし、日本バレエ団連盟会員団体での指導を依頼した。また、その成果を、ダンサー育成環境の開発と整備の一助とすべく、将来プロを目指す若手ダンサーとその指導者に対して公開した。

1-2 ローラン・フォーゲル氏によるマスタークラス・公開レッスン

講師紹介

ローラン・フォーゲル Roland Vogel

ジョン・クランコ・バレエ・スクールで学び、シュツットガルト・バレエ団に入団。

『白鳥の湖』、『眠れる森の美女』、『ラ・バヤデール』などの古典バレエに主演、ジョン・クランコの『オネーギン』、『じゃじゃ馬馴らし』などの物語バレエをはじめ多くの作品を踊り、ダンサーとしてのキャリアの最後までシュツットガルト・バレエ団で活躍した。20世紀を代表する世界的振付家の数多くの作品に主演するとともに、J・ノイマイヤー、U・ショルツ、D・ビントリーらの新作の初



演キャストも務めている。

1998年の長野冬季オリンピック大会の開会式でU・ショルツ振付『若い男』のパ・ド・ドゥを踊り、1999年には『オネーギン』のタイトルロールでブノワ賞にノミネートされた。

1999年から2001年にヴェルテンベルク州立歌劇場の教育訓練プログラムに参加、ジョン・クランコ・スクールでクラシック・バレエ教師の資格を取得した。ダンサーとしてのキャリアを終えると直ちに教師に転じ、マリカ・ヴェゾブラゾヴァに招かれモナコのプリンセス・グレース・バレエ・アカデミーの教師陣に加わる。以来、現在のディレクターであるルカ・マサラの下でダンサーの育成にあたり、スクールのために多くの作品を振り付けている。

カンヌ・ロゼラ・ハイタワー・のゲスト教師のほか、中国、日本では様々なスクールにおいてワークショップ指導を行っている。北京の中国国立バレエ団にはゲスト教師として定期的に招かれ、クランコの『オネーギン』、『ロメオとジュリエット』、U・ショルツの『第七交響曲』、『白鳥の湖』などを指導した。

東京のNBAバレエ団のコンクール審査委員会メンバー、ニューヨークのユース・アメリカ・グランプリの審査員を務め、2011年の第一回北京国際バレエ・コンクールにはゲスト教師として招かれた。2014年に振り付けた『オーゲンブリック』パ・ド・ドゥは、北京舞踏学院60周年記念のオープニングで踊られ、モンテカルロ・バレエ団の協力を得てプリンセス・グレース・アカデミーでも上演された。

● マスタークラス実施概要

対 象：5月13日（月）～17日（金）：東京バレエ団

5月20日（月）～24日（金）：牧阿佐美バレエ団

※期間中、1日あたり2クラスのマスタークラスを実施。

指 導：ローラン・フォーゲル

<マスタークラス指導の様子>



(東京バレエ団)



(牧阿佐美バレエ団)

● 公開レッスン実施概要

日 時：5月25日（土）10:30～12:30

会 場：牧阿佐美バレエ団スタジオ（東京都中野区中野）

指 導：ローラン・フォーゲル

実 技：牧阿佐美バレエ団ダンサー 24名

見学者：35名（バレエ指導者14名、学習者21名）

<公開レッスンの様子>



©Takashi Shikama

参加者の声 ～抜粋～

- 音の取り方やムーブメントの伝え方が大変美しく、参考になった。(指導者)
- 丁寧なお手本、ユーモアを交えた情熱的なご指導に引き込まれた。言葉を越えたものを感じた。(指導者)
- クラス全体の組み立て方や、音楽性のあるアンシェヌマンが大変参考になった。(指導者)
- 上体の使い方、音楽性、アクセントなど、日本のダンサーに足りないと言われている点を改めて認識できた。日々のレッスンから、舞台上での表現をより意識していきたい。(学習者)
- コミュニケーションや、音楽とともに観客にエネルギーを伝えることをもっと意識していきたいと思った。(学習者)
- 上体の使い方やアームスのコーディネーションについて、細かく指導されていたことが印象に残った。(学習者)
- 普段のクラスでは分からなかったことが、どうすれば改善できるか分かり、とても貴重な機会だった。(学習者)

1-3 アンドレイ・クレム氏によるマスタークラス・公開レッスン

講師紹介

アンドレイ・クレム Andrey Klemm

1967年、モスクワ出身。ボリショイバレエアカデミーを卒業後、1985年モスクワクラシックバレエに入団し、ソリストとして活躍する。

その後、ドイツへ渡り、ボン州立バレエ、ベルリン国立バレエのソリストを務める。

ロシア国立舞台芸術大学（GITIS）にてロシア連邦国家舞踊教師資格を取得。またアメリカの大学でも教授法を学ぶ。ベルリン国立バレエのバレエマスターを経て、2007年よりパリ・オペラ座バレエ団の教師となる。



© Maria-Helena Buckley

現在、英国ロイヤルバレエ、オランダ国立バレエに定期的にゲストティーチャーとして招かれ、世界中で精力的に指導を行い、また多数のDVDプロデュースを行っている。

日本バレエ団連盟の会員団体への指導は本事業での招へいがはじめてである。

これまでの指導実績に対する世界的な評価に加え、2019年「世界バレエフェスティバル」の出演者たちへのクラスレッスンを受け持つゲストティーチャーとして来日していた際の評判をふまえ、招へいした。

● マスタークラス実施概要

対 象：8月6日（火）～10日（土）：貞松・浜田バレエ団

8月12日（月）～16日（金）：東京シティ・バレエ団

※期間中、1日あたり2クラスのマスタークラスを実施。

指 導：アンドレイ・クレム

<マスタークラス指導の様子>



(貞松・浜田バレエ団)



(東京シティ・バレエ団)

● 公開レッスン実施概要

日 時：8月17日（土）10:30～12:30

会 場：東京シティ・バレエ団 大島スタジオ（東京都江東区北砂）

指 導：アンドレイ・クレム

実 技：東京シティ・バレエ団ダンサー 24名

見学者：21名（バレエ指導者11名、学習者10名）

＜公開レッスンの様子＞



©Takashi Shikama

参加者の声 ～抜粋～

- 指導内容は、日々子どもたちに伝えていることと同じことであったが、徹底的に「正しさ」を伝えていかなければならないのだと感じた。(指導者)
- アンシェヌマンの組み立て方がとても勉強になった。(指導者)
- 学習者の身体に触れ、正しい方向に促すタイミングが絶妙で、大変参考になった。(指導者)
- 目的に対してのエクササイズが明確で、とても効果的だと思った。(指導者)
- 正しいポジションを身体に入れることの重要性を改めて強く感じる事ができた。(学習者)
- 身体の方角の意識、足の裏を使うこと、首の動かし方などにもっと注意して、今後のレッスンに臨みたいと思った。(学習者)

1-4 パトリック・アルマン氏によるマスタークラス・公開レッスン

講師紹介

パトリック・アルマン Patric Armand

マルセイユ生まれのパトリック・アルマンは、ルディ・ブライアンズと母のコレット・アルマンに教えを受け、マルセイユ・バレエ学校で学んだ。1980年にローザンヌ賞を獲得し、引き続きスクール・オブ・アメリカン・バレエとカンヌの国際ダンス・センターで研鑽を積んだ。1981年にフランス・バレエ・シアターに入団、1983年にプリンシパル・ダンサーに昇格。同年、ルドルフ・ヌレエフ共演によるベジャールの「さすらう若者の歌」でローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。1984年、ペーター・シャウフスの招きでロンドン・フェスティバル・バレエ（現イングリッシュ・ナショナル・バレエ）に入団し、ブ



©ChrisHardy

ルース・マークス監督の下、1990年にボストン・バレエに移籍するまで6年間、同団で踊った。

レパートリーには、アシュトン、バランシン、クランコ、マクミラン、プティ、テトリー、ファン＝マーネンによる振付作品の主役が多数含まれる。中でも、1988年にロンドン・フェスティバル・バレエが世界初演したナタリア・マカロヴァ版の「白鳥の湖」で、ジークフリートを演じたことは特筆に値する。イギリスの雑誌「ダンス・アンド・ダンサーズ」の投票により、彼は同年の年間ベスト・ダンサーに選出された。また、ボーボット、ブルース、サープ、ウィールドン等の振付家が彼のために作品を創作している。ゲスト・アーティストとしては、オーストラリア・バレエ団、バイエルン国立バレエ、ベルリン・ドイツ・オペラ・バレエ団、キーロフ・バレエ、小林紀子バレエ・シアターに出演している。2002年、マルセイユのコレット・アルマン・バレエ・スタジオの監督を引き継いだ。ゲスト教師としては、アムステルダム、フィレンツェ、ロンドン、ナポリ、東京、トロントのバレエ学校やバレエ団でたびたび教えている。

2003年、東京の新国立劇場において、小林紀子バレエ・シアターのために「ライモンダ」第3幕の共同演出を行った。2006年、ミラノ・スカラ座の教師及びバレエ・マスターに任命された。また、ザグレブのクロアチア国立劇場のために「ドン・キホーテ」のプロダクションを振り付け、2010年6月に初演された。

1998年から2009年までローザンヌ・バレエ・コンクールの審査員を務め、2010年からは同コンクールの公式男性コーチ及び教師を務めている。2010年にサンフランシスコ・バレエ学校研修生プログラムのトップに任命され、2012年9月1日に同校の副校長に就任。名誉座長を務めた2017年のスチューデント・ショーケース・ディナーにおいて、同校の校長に指名された。

● マスタークラス実施概要

対 象：11月18日（月）～22日（金）：井上バレエ団

11月25日（月）～29日（土）：小林紀子バレエ・シアター

※期間中、1日あたり2クラスのマスタークラスを実施。

指 導：パトリック・アルマン

<マスタークラス指導の様子>



(井上バレエ団)



(小林紀子バレエ・シアター)

● 公開レッスン実施概要

日 時：11月30日（土）13:00～15:00

会 場：小林紀子バレエ・シアター スタジオ（東京都豊島区目白）

指 導：パトリック・アルマン

実 技：小林紀子バレエ・シアターダンサー 25名

見学者：55名（バレエ指導者25名、学習者30名）

<公開レッスンの様子>



© Kenichi Tomohiro

参加者の声 ～抜粋～

- バレエにおいて絶対的に守る必要がある基本について、ダンサーに繰り返し伝え、変化が見えるところまで持っていく姿勢に感銘を受けた。(指導者)
- 身体全体のポジションを常に考えて、熱意をもって明確に指導しなければならないと思った。(指導者)
- 音楽の使い方、全身のコーディネーション、アンシェヌマンの組み方などが大変参考になった。(指導者)
- 「この場にいることを楽しんで」という先生の言葉が印象に残った。生きていることへの感謝・喜びなど、踊る以前に大切なことがあることに気づかされた。私も生徒たちに伝えていきたい。(指導者)
- 「名前のないステップをしてはいけない」「バレエはムーブメント」「バレエは常に勉強」という先生の言葉が印象に残った。(学習者)
- 1つ1つの動きを正確にすることの大切さを理解できた。(学習者)
- 首の動かし方や、全身の連動をより意識して今後のレッスンに臨みたいと思った。(学習者)
- ただステップをするのではなく、表現・踊りにすることの大切さを理解できた。(学習者)
- 先生の指導を受け、動きを修正し、よりよく変化していくプロのダンサーを近くで見ることができて、とても参考になった。(学習者)

2章 香港・シンガポールの バレエ団運営に関する調査報告

2章 香港・シンガポールの バレエ団運営に関する調査報告

2-1 概要

本調査では、アジアの都市で活動を行うバレエ団の事例として、香港・シンガポールにおいてそれぞれ代表的なバレエ団である、香港バレエ団、シンガポール・ダンス・シアターを対象とし、経営面を統括している芸術監督または事務局長への聞き取り調査を行った。

2-2 香港バレエ団

1979年設立。香港、中国本土、台湾、日本、韓国などのアジア諸国、オーストラリア、アメリカなど、ダンサーたちの国籍がじつに多様なのが大きな特徴の1つ。2017年に現在の芸術監督、セプティム・ウェブレ氏がバレエ団を率いるようになってからは、ウェブレ氏自身が振付・演出を手がけるオリジナル作品が次々にヒット。興行収入も右肩上がりであり勢いを増すなか、2019年に創立40周年を迎えた。

しかし2019年、香港は民主化を目指す若者を中心としたデモ隊と、香港警察隊が激しく衝突。取材を行った2019年秋も、公演がキャンセルを余儀なくされるなどの事態が相次いでいた。混乱した情勢は今なお続き、香港バレエ団は困難なシーズンを迎えている。



香港バレエ団が公演や稽古を行う劇場
「香港芸術文化中心」の入口の様子



「香港芸術文化中心」のエントランスホール
(公演前のパフォーマンスにも使用されていた)

■ 聞き取り調査①

調査日：2019年11月1日

香港バレエ団 芸術監督 **セプティム・ウェブレ氏**

キューバ系アメリカ人の家庭に生まれる。1999～2016年まで17年間、ワシントン・バレエの芸術監督を務めた。在任中は同バレエ団の予算規模を500%増加させ、その手腕を高く評価された。2017年香港バレエ団芸術監督に就任。振付家としての活動も旺盛で、同団でさっそく振付・演出を手がけた『不思議の国のアリス』や『ザ・グレート・ギャッツビー』は大きな成功を取めた。

<主なヒアリング項目>

- ・香港におけるバレエ団への経済的支援
- ・ファンドレイジングを成功させるための工夫
- ・戦略的なプログラム構成
- ・香港バレエ団の特徴と香港のバレエ事情

■ 聞き取り調査②

調査日：2019年11月1日

香港バレエ団 事務局長 **ポール・タム氏**

<主なヒアリング項目>

- ・香港バレエ団の概要
- ・オーディションについて
- ・ダンサーの雇用形態と福利厚生
- ・予算規模、収入、ファンドレイジング
- ・プロモーションとブランディング戦略
- ・香港のバレエ事情
- ・今後の展望

2-3 シンガポール・ダンス・シアター

1988年に設立された、シンガポール史上初のプロフェッショナル・ダンス・カンパニー。創設者は2人のシンガポール人ゴー・ソー・キムとアンソニー・ゼン。2008年、創設者の二人から厚い信頼を寄せられていたヤネック・シェルゲン氏が芸術監督に就任。2013年にはカンパニーの拠点を繁華なブギス地区に建つ大型商業施設 Bugis+（ブギスプラス）の中に移し、4つのスタジオや衣裳室なども備える充実した設備のなかで、約40名のダンサーたちが日々の稽古や多彩なレパートリーに取り組んでいる。

■ 聞き取り調査

調査日：2019年11月4日

シンガポール・ダンス・シアター 芸術監督 **ヤネック・シェルゲン氏**

スウェーデン・ヨーテボリ出身。1971年カナダのロイヤル・ウィニペグ・バレエ入団、翌年米国ペンシルベニア・バレエに移籍。ワシントン・バレエやスウェーデン王立バレエ等でバレエマスターやバレエ教師を歴任したのち、2008年シンガポール・ダンス・シアター芸術監督に就任。



Bugis + 7階エレベーターホールから続く
SDTの稽古場入口前スペースの様子



稽古場エントランスに華やかに展示された
SDTレパートリーの衣裳とヤネック・シェルゲン氏

<主なヒアリング項目>

- ・カンパニーの特徴
- ・カンパニーの概要と予算規模
- ・ダンサーたちの給与と生活
- ・カンパニーの収入と内訳
- ・ファンドレイジング施策について
- ・シンガポールのバレエ事情、その他

3章 セミナー実施報告

3章 セミナー実施報告

3-1 バレエ団運営スタッフ向け ファンドレイジングセミナー

● 背景・概要

現在、日本の多くのバレエ団は、少ない運営スタッフで事業運営を行っており、ファンドレイジング活動の重要性を理解しつつも、そこに資金や人的資源を積極的に投入することが難しい状況にある。

昨年度は、ファンドレイジング活動について基本的な知識を習得し、各団体における活動を見直す機会として、日本ファンドレイジング協会の企画協力によるセミナーを実施し、その後、各団体でのビジョン・発信メッセージの見直しや、お客さま目線に立ったサービス改善等が行われてきた。

今年度は、企業からの支援拡大をテーマに、企業メセナ協議会によるファンドレイジングセミナーを実施した。

● 実施概要

- 日時：2019年11月15日（金）15～17時
場所：芸能花伝舎 A棟1階 A2会議室（東京都新宿区西新宿6-12-30）
講師：企業メセナ協議会 常務理事兼事務局長 澤田澄子氏
（元キヤノン株式会社 CSR推進部部长）



● セミナー内容

- 企業がなぜ芸術文化支援をするのか？
- 企業目線から見たファンドレイジング活動のポイント
- 助成制度のご案内
- 意見交換

<参加者>

日本バレエ団連盟会員団体である下記の6団体より、計8名の運営スタッフが参加した。

- 井上バレエ団 : 1名
- 小林紀子バレエ・シアター : 1名
- スターダンサーズ・バレエ団 : 1名
- 東京シティ・バレエ団 : 1名
- 東京バレエ団 : 2名
- 牧阿佐美バレエ団 : 2名

● 参加者の声 ～抜粋～

- 企業の社会貢献室で、実際に日頃私たちが支援のお願いをする企業側の立場のご経験がある方のお話を聞くことができ、大変参考になった。企業の担当者は、他にもたくさんの支援のお願いを受けていて、色々なお願いを断らざるをえず、つらい立場にあるということが理解できた。また、すぐに寄付にはつながらなくても、応じた担当者は十分活動の趣旨を理解し、忘れないはずなので、働きかけには意味がある、無駄ではないとの言葉に励まされた。
- 相手の会社のことをもっとよく勉強して臨まなければ、と思った。
- ファンドレイジング活動の対象として、自分たちのバレエ団が深いつながりをもっている国の企業で、日本支社を持つところを考えていたが、その国へ進出している・進出を考えている日本企業との関係構築も今後実施していきたいと思う。

3-2 バレエダンサー向け 身体のメンテナンスセミナー

● 背景・概要

バレエの魅力を多くの人に伝え観客拡大を図ることや、バレエ団の運営基盤整備を考えると、その芸術創造の担い手であるバレエダンサーが、心身を良好な状態に保ち、十分に実力を発揮できる環境を整えることは大変重要である。

バレエダンサーは、作品や役柄により、さまざまな動きを求められ、身体感覚を研ぎ澄ませ日々鍛錬することによりそれを実現しているが、その感覚や使い方に偏りが生じれば、伸び伸びと表現して観客に感動を伝えることが困難になるばかりでなく、踊ることにより自らの身体の故障を招いてしまう。海外の代表的なバレエ団では、バレエ団に専属のフィジオ（理学療法士）やセラピストをつけたり、施術所や身体のメンテナンスができる部屋・器具を備えたりしているケースが多いが、運営面に資金的余裕を持たない日本の多くのバレエ団では、そのような投資を行うことが困難な状況にある。

また、日本の多くのバレエダンサーは、バレエ団におけるレッスン・リハーサル・舞台に加え、バレエ指導等の身体を使った副業で、日々身体を酷使している。怪我を経験しているダンサーや、痛みや不調を感じながらも、十分に機能を回復させることができないまま踊りつづけ、怪我のリスクを高めているダンサーも多い。日々のレッスンで自らと向き合う時間はあっても、長年のレッスンで培ってきた身体の使い方と間違っていることに気づくことができず、反復練習をしまっているケースもある。

このような日本の現状で、優秀なバレエダンサーがその能力を十分に発揮し、また将来にわたって怪我なく健やかに生活していくためには、自身の身体の使い方の癖や弱点について、問題が小さなうちに気づき、その原因や対処法を理解して、自らメンテナンスを行う必要がある。

そこで、日本バレエ団連盟に所属するバレエ団のダンサーおよび指導者を対象に、バレエを踊るために必要な体力や機能をチェックし、改善策や強化法を紹介するセミナーを開催した。

多くのダンサーが、正しいアライメントや動きとして認識していた自らの感覚に、癖や間違いがあったことに気づき、今後の改善に向けたトレーニングを持ち帰るよい機会となった。

● 実施概要

- ・テーマ：テクニック改善に！“踊るカラダ”チェック～足部を中心に
- ・日時：2020年2月19日（水）15～17時
- ・場所：芸能花伝舎 B棟3階 B3会議室（東京都新宿区西新宿6-12-30）
- ・企画協力：NPO法人芸術家のくすり箱
- ・講師：鍋田友里子氏（理学療法士）

<講師略歴>

ニューヨーク大学附属ダンサー専門外来ハークネスセンターに6年勤務。ブロードウェイミュージカルバックステージフィジオセラピストとしても活動。2017年、日本帰国後、ダンサーの治療にかかわる講演や指導に携わる。NPO法人芸術家のくすり箱理事。

<参加者>

日本バレエ団連盟会員団体である下記の4団体より、計16名（受講者13名・見学3名）が参加した。

- ・井上バレエ団：受講者3名（ダンサー2名・指導者1名）、見学1名（指導者）
- ・スターダンサーズ・バレエ団：受講者6名（ダンサー4名・指導者1名）、見学1名（指導者）
- ・東京シティ・バレエ団：受講者2名（ダンサー）、見学1名（事務局）
- ・牧阿佐美バレエ団：受講者2名（ダンサー）

<セミナー内容>

バレエの基本的な動きや基礎体力のチェックを通して、下記項目の現状を評価・解説し、改善に向けたトレーニング方法を紹介・実践した。

1. チェック

- (1) つま先の伸ばし方（足関節可動域、足指の筋のコントロール）
- (2) バランスチェック
- (3) ルルベチェック（脚の筋力、脚・骨盤のアライメント）
- (4) ターンアウト・プリエチェック（股関節・足関節可動域、骨盤・足部のコントロール）

2. 上記より推測される弱点強化のためのエクササイズを12種類紹介・体験

● 参加者の声（アンケートより抜粋）

～参考になった点・今後活かしたいと感じた点～

- 多くの有効なエクササイズと、自分の身体の弱点と良い部分を知ることができて良かった。（指導者・ダンサー）
- ダンサーにとって大切にしなくてはならないアライメントがわかり、自分の感覚との違いをトレーニングで感じられた。（指導者・ダンサー）
- 足裏のトレーニングや、足指のエクササイズが大変参考になった。（ダンサー）
- 怪我をしてから身体の使い方が不安定になっていることを感じていたので、トレーニングを試してみたいと思った。（ダンサー）
- 左足を手術したため左足の方が悪いと思っていたが、意外と右足に癖があることがわかった。（ダンサー）
- 1人1人の身体の癖に気づき、改善する方向を見つけることは、指導者にとってとても必要な知識だと改めて感じた。（指導者）
- 自身の癖を改めて確認することができ、さらに意識の足りていなかった筋肉を教えていただき、とても考えさせられる時間だった。今後、ターンアウトの筋肉の使い方を変えていきたい。（指導者）
- クラス中やリハーサル中に怪我をするダンサーが多い。コストの問題はあるが、怪我予防のための方策をバレエ団により取り入れていけるようにしていきたい。（事務局）

～身体のメンテナンスで苦労している点～

<セルフトレーニングについて>

- 身体のバランスを整えるため、ピラティス等、外部のクラスを受講しているが、費用がかかるため、自宅でする効果的なセルフトレーニングを知りたい。（ダンサー）
- セルフトレーニングについて、特に、小学生低学年や思春期の子供たちへのアドバイス・アプローチ方法を知りたい。（指導者）
- ダンサー特有の身体の見方や、効果的なエクササイズを知りたい。（指導者）

<怪我について>

- 怪我をした際の対処、応急の判断、病院・治療院の選び方。（指導者・ダンサー）
- 怪我をした後のエクササイズやメンテナンス方法。（ダンサー）
- 怪我をしたダンサーを、どの程度休ませて再開させるか、見極めが困難。（指導者）
- 怪我やパフォーマンスの低下を防止する、効果的な疲れの取り方を知りたい。（ダンサー）

<身体の不調について>

- 外反母趾、足の付け根の痛み。
- 婦人科系の不調。

<正しいアライメントについて>

- 人それぞれの身体の見極め。(指導者)
- 学習者への正しいアライメントの伝え方。(指導者)
- 身体のかたい学習者や、全身のバランスが崩れている学習者への指導が困難。(指導者)

<バレエ団の施設・体制について>

- リハーサル後やレッスン前にストレッチするスペースがないこと。(ダンサー)
- 小さな痛みのおきに気軽に相談できる場所がない。(ダンサー)

<その他>

- よい踊りをするダンサーが、体型のコントロールが困難だったり、怪我をしやすかったりして、本来の実力を発揮しきれていないと感じることがある。食事やメンタルに問題があるケースも考えられる。

● セミナーの様子





1章 マスタークラス実施報告

2章 2-1・2-2
概要・香港バレエ団

2-3 シンガポール・
ダンス・シアター

3章 セミナー実施報告

付録

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者
(2019/2020シーズン現在)

付録 海外のバレエ団で活躍する主な日本出身者 (2019/2020シーズン現在)

主に海外の国公立劇場のバレエ団、民間の著名バレエ団、有名振付家が率いているバレエ団に所属し活躍しているダンサーについてまとめた。

※階級制がある場合の最高位 ◆はノーザン国際バレエコンクール入賞者

【イギリス】

- ひらの りょういち (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 たかだ あかね 高田 茜 (英国ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 アクリ てるか 瑠嘉 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト) ◆
 ちえ ゆふい 崔 由姫 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト) ◆
 かねこ ふみ 金子 扶生 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト)
 かつら ちさと 桂 千理 (英国ロイヤル・バレエ団ファーストアーティスト)
 まえだ さえ 前田 紗江 (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆
 なかお たいすけ 中尾 太亮 (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆
 ささき まりこ 佐々木万璃子 (英国ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆
 ささき すみな 佐々木須弥奈 (英国ロイヤル・バレエ団研修生) ◆
 あつじ やすお 厚地 康雄 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※
 ひらた ももこ 平田 桃子 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル) ※◆
 みずたに みき 水谷 実喜 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファーストソリスト) ◆
 ふちがみ れいな 淵上 礼奈 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団ファーストアーティスト)
 くりはら ゆう 栗原 ゆう (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団アーティスト)
 すぎうら ゆき 杉浦 優妃 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団アーティスト)
 すみやま みお 住山 美桜 (バーミンガム・ロイヤル・バレエ団アーティスト) ◆
 たかはし えりな 高橋絵里奈 (イングリッシュ・ナショナル・バレエリード・プリンシパル) ※
 か せ しお 加瀬 葉 (イングリッシュ・ナショナル・バレエプリンシパル)
 さるはし けん 猿橋 賢 (イングリッシュ・ナショナル・バレエファーストソリスト)
 かねはら りな 金原 里奈 (イングリッシュ・ナショナル・バレエソリスト) ◆
 こう せんり 康 千里 (イングリッシュ・ナショナル・バレエジュニア・ソリスト)
 なかあきれん たろう 仲秋連太郎 (イングリッシュ・ナショナル・バレエアーティスト)
 みやた あやみ 宮田 彩未 (ノーザン・バレエリーディングソリスト)
 いとう りく 伊藤 陸久 (ノーザン・バレエソリスト)

あきた み き
芥 実季 (ノーザン・バレエ コリフェ)

【フランス】

オニール^{はな}八奈 (パリ・オペラ座バレエ団プルミエール・ダンスーズ) ◆
ふじい み ほ
藤井 美帆 (パリ・オペラ座バレエ団カドリーユ)
くわばら さ き
桑原 沙希 (パリ・オペラ座バレエ団カドリーユ)
はせがわらうた
長谷川 諒太 (ボルドー・オペラ座バレエ団 コール・ド・バレエ)
おおた り く
太田 倫功 (ボルドー・オペラ座バレエ団 コール・ド・バレエ)
なかざと か よ
中里 佳代 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドウミソリスト)
かねこ みゆ
金子 稔 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団ドウミソリスト)
おがさわら ゆ き
小笠原由紀 (トゥールーズ・キャピトル・バレエ団コール・ド・バレエ)
きのした よしこ
木下 佳子 (マルセイユ・バレエ団)
こんどう しげゆき
近藤 茂幸 (ニース・バレエ ドウミソリスト)
うわは ゆい
上羽 結衣 (バレエ・ビアリッツ)

【ドイツ】

もりた あ み
森田 愛海 (シュツットガルト・バレエ団プリンシパル) ※
あめみや みず き
雨宮 瑞季 (シュツットガルト・バレエ団コール・ド・バレエ)
すが い まどか
菅井 円加 (ハンブルク・バレエ団プリンシパル) ◆
ひらき な こ
平木 菜子 (ハンブルク・バレエ団コール・ド・バレエ)
おくむら あや
奥村 彩 (ベルリン国立バレエ団ソリスト)
かんの まり な
菅野 茉莉奈 (ベルリン国立バレエ団デミソリスト)
てらやま はる み
寺山 春美 (ベルリン国立バレエ団デミソリスト)
いさか ゆり あ
井阪 友里愛 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
かわにし まり
川西 真理 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
まつもと ゆか
松本 有加 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
なかしま み のり
中島 美紀 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
すぎしま ち な つ
杉島 知奈津 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
すやま あい
巢山 葵 (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
いせき
井関 エレナ (ベルリン国立バレエ団コール・ド・バレエ)
かわぞえ とも か
川添 智香 (ミュンヘン・バレエ コール・ド・バレエ)
ふじもと か な こ
藤本 佳那子 (ドレスデン国立歌劇場バレエ団ファーストソリスト)
かど さ や か
門沙 也香 (ヴィースバーデン・バレエ)
かとり まさよし
香取 成和 (ヴィースバーデン・バレエ)
たか だ たつき
高田 樹 (ヴィースバーデン・バレエ) ◆

いと う な み (カールスルーエ・バレエ ソリスト)
伊藤 奈美
きく ち も も か (カールスルーエ・バレエ ソリスト)
菊地 桃花
あさ い え り か (キール・バレエ)
浅井 恵梨佳
きし む ら こ う き (キール・バレエ)
岸村 光熙
た な か (アウグスブルク・バレエ)
田中 も こ
や ま と し ゅ う り (アウグスブルク・バレエ)
山本 勝利
ゆ が わ も え か (アウグスブルク・バレエ)
湯川 萌可
い で ち さ と (ニュルンベルク・バレエ)
井出 千智
た む ら さ え (ドルトムント・バレエ)
田村 彩恵
わ き た さ や か (ドルトムント・バレエ)
脇田 紗也加
か と う ゆ う こ (バレエ・アム・ライン)
加藤 優子
な か の め と も あ き (バレエ・アム・ライン)
中ノ目 知章
しみ ず わ た る (エッセン市立バレエ団ソロ) ※
清水 渡
まつ う ら ゆ り え (エッセン市立バレエ団ソロ・ミット・グルッペ)
松浦 友里恵
よ ね や ま み か (エッセン市立バレエ団ソロ・ミット・グルッペ)
米山 実加

【オーストリア】

は し も と き よ か (ウィーン国立バレエ団ファーストソリスト) ※
橋本 清香
き も と ま さ ゆ う (ウィーン国立バレエ団ファーストソリスト) ※
木本 全優
しば も と り か こ (ウィーン国立バレエ団ハーフソリスト)
芝本 梨花子

【スイス】

お お ぬ き ま さ よ し (モーリス・ベジャール・バレエ団) ◆
大貫 真幹
お お は し ま り (モーリス・ベジャール・バレエ団)
大橋 真理
き し も と ひ で お (モーリス・ベジャール・バレエ団)
岸本 秀雄
ま え だ め い り (チューリヒ・バレエ グルッペ・ミット・ソロ)
前田 明里
あ い ざ わ ゆ み (ジュネーヴ大劇場バレエ団)
相澤 優美
し げ な り さ ら (ジュネーヴ大劇場バレエ団)
重成 沙羅

【イタリア】

も と よ し せ な (ミラノ・スカラ座バレエ団登録コール・ド・バレエ)
本吉 星菜

【モナコ公国】

こいけ
小池ミモザ（モナコ公国モンテカルロ・バレエ団プリンシパル）※
たじまか おり
田島香緒里（モナコ公国モンテカルロ・バレエ団）

【スペイン】

おおたに ほる ひ
大谷 遥陽（スペイン国立ダンスカンパニー ソリスト）

【オランダ】

さかもと り ほ
坂本 莉穂（オランダ国立バレエ団ソリスト）
やま だ しゅう
山田 翔（オランダ国立バレエ団ソリスト）
ふくし すりむ
福士 宙夢（ネザーランド・ダンス・シアター I）
いいだり なこ
飯田利奈子（ネザーランド・ダンス・シアター I）
かりや まどか
刈谷 円香（ネザーランド・ダンス・シアター I）
たかうら ゆきの
高浦 幸乃（ネザーランド・ダンス・シアター I）
いしまる
石丸ニコル（ネザーランド・ダンス・シアター II）

【ベルギー】

かとう みき お
加藤三希央（ロイヤル・フランダース・バレエ団コール・ド・バレエ）◆

【ルーマニア】

おくの りん
奥野 凜（ブカレスト国立歌劇場バレエ団プリンシパル）※
ながい あやか
永井 綾香（シビウ劇場バレエ団プリンシパル）※

【ハンガリー】

もりもと りょうすけ
森本 亮介（ハンガリー国立バレエ団セミソリスト）
いしぎき ふたば
石崎 双葉（ハンガリー国立バレエ団コール・ド・バレエ）
たかもり みゆ
高森 美結（ハンガリー国立バレエ団コール・ド・バレエ）

【チェコ】

おぎもと みほ
荻本 美穂（チェコ国立バレエ団ファースト・ソリスト）※

【クロアチア】

すずき りえか
鈴木里依香（クロアチア国立劇場プリンシパル）※

【スロヴェニア】

なかしま あさみ
中島 麻美（スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト）※
おおまき ゆうや
大巻 雄矢（スロヴェニア国立マリボル歌劇場ソリスト）※

【スウェーデン】

さつ さ はるか
佐々 晴香（スウェーデン王立バレエ団プリンシパル）※
やまぐち ま ゆみ
山口真 有美（スウェーデン王立バレエ団ファーストソリスト）
いしだ ひろあき
石田 浩明（スウェーデン王立バレエ団セカンドソリスト）
にえだ もえ
贄田 萌（スウェーデン王立バレエ団セカンドソリスト）◆
やなぎさわ かほ
柳澤 郁帆（スウェーデン王立バレエ団ダンサー）◆
ふじさわ たくや
藤澤 拓也（ヨーテボリ・バレエ）
たかはし さとこ
高橋 聡子（ヨーテボリ・バレエ）

【ノルウェー】

まつい がくろう
松井 学郎（ノルウェー国立バレエ団プリンシパル）※
にし の まこ
西野 麻子（ノルウェー国立バレエ団プリンシパル）※

【フィンランド】

まつね はなこ
松根 花子（フィンランド国立バレエ団ファーストソリスト）
こもり まい
小守 麻衣（フィンランド国立バレエ団セカンドソリスト）

【ポーランド】

えびはら ゆか
海老原由佳（ポーランド国立バレエ団ファーストソリスト）※
かげやま まい
影山 茉以（ポーランド国立バレエ団ファーストソリスト）※
にしじま はやと
西島 勇人（ポーランド国立ポズナン歌劇場バレエ団ソリスト）
しらい さえか
白井沙恵佳（ポーランド国立ポズナン歌劇場バレエ団ソリスト）
おくの あい
奥野 亜衣（シロンスク・オペラ劇場ソリスト）※

【トルコ】

おちあい
落合 リザ (トルコ国立メルスィン・バレエ団)

【エジプト】

た やま しゅうこ
田山 修子 (カイロ国立オペラ劇場バレエ団)

【アメリカ】

すみたに けん と
隅谷 健人 (アメリカン・バレエ・シアター コール・ド・バレエ)

くらなが み さ
倉永 美沙 (サンフランシスコ・バレエ団プリンシパル) ※◆

やまもと はんすけ
山本 帆介 (サンフランシスコ・バレエ団ソリスト)

まつやま
松山のりか (サンフランシスコ・バレエ団コール・ド・バレエ)

ゆうき あ み
結城 亜美 (サンフランシスコ・バレエ団コール・ド・バレエ)

あらい よしひさ
新井 誉久 (ジョフリー・バレエ)

いわい ゆ か
岩井 優花 (ジョフリー・バレエ)

きよさわひ ゆう ま
清沢飛雄馬 (ジョフリー・バレエ)

た なか み う
田中 美羽 (ジョフリー・バレエ)

か じ や ゆ り こ
加治屋百合子 (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※◆

よしやま
吉山シャル・ルイ・アンドレ (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※◆

いいま のぞみ
飯島 望未 (ヒューストン・バレエ団プリンシパル) ※

ありい まよ
有井 舞耀 (ヒューストン・バレエ団デミソリスト)

ふじわら あおい
藤原 青衣 (ヒューストン・バレエ団デミソリスト)

かとう りょう
加藤 凌 (ヒューストン・バレエ団デミソリスト)

お が ち さ こ
大賀千沙子 (ボストン・バレエ団セカンドソリスト)

きむら あやの
木村 綾乃 (ワシントン・バレエ)

みやぎま こ
宮崎たま子 (ワシントン・バレエ)

おおぬき ま き
大貫 真希 (ワシントン・バレエ)

たきぐち まさのり
滝口 勝巧 (ワシントン・バレエ)

ひだか せ な
日高 世菜 (タルサ・バレエ プリンシパル) ※

よしだ しゅうへい
吉田 周平 (タルサ・バレエ ソリスト)

い せ だ ゆ か
伊勢田由香 (ペンシルバニア・バレエ ファーストソリスト)

ほりうち げん
堀内 元 (セントルイス・バレエ芸術監督) ◆

もり
森ティファニー (セントルイス・バレエ)

しみず けん た
清水 健太 (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※◆

やはた あきみつ
八幡 顕光 (ロサンゼルス・バレエ団プリンシパル) ※

なかの よしあき
中野 吉章 (ピッツバーグ・バレエ・シアター プリンシパル) ※
かみくさ よしこ
上草 吉子 (インディアナポリス・バレエ)
ほりさわ ゆうこ
堀沢 悠子 (グランド・ラピッズ・バレエ) ◆

【カナダ】

えべ なおや
江部 直哉 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ プリンシパル) ※
いしはら こと
石原 古都 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ ファーストソリスト)
こやすみ よこ
子安美代子 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンドソリスト)
さとう こうた
佐藤 航太 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンドソリスト)
はねいし あやの
羽石 彩乃 (ナショナル・バレエ・オブ・カナダ セカンドソリスト)
こうの まい
河野 舞衣 (レ・グランバレエ・カナディアンソリスト) ◆
すがわら ゆい
菅原 愉い (レ・グランバレエ・カナディアンソリスト)
ばん やよい
伴 弥生 (ロイヤル・ウィニペグ・バレエソリスト)
みの ようすけ
三野 洋祐 (ロイヤル・ウィニペグ・バレエソリスト)

【ロシア】

ながひさ
永久 メイ (マリインスキー・バレエ セカンドソリスト)
いしい くみこ
石井久美子 (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)
あんざい おりね
安齋 織音 (マリインスキー・バレエ コール・ド・バレエ)
ちの まるく
千野 円句 (ポリショイ・バレエ アーティスト)
なおつか みほ
直塚 美穂 (モスクワ音楽劇場バレエ団 コール・ド・バレエ)
たなか みなみ
田中 美波 (ミハイロフスキー劇場バレエ コール・ド・バレエ)
こいけ さおり
小池 沙織 (ロシア国立クレムリン・バレエ リーディングソリスト)
マイカ・成澤ガリムーリナ (モスクワ・クラシック・バレエ)
おおつか
大塚カレン (ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ コール・ド・バレエ)
ふくだ しおり
福田 汐里 (ロシア国立バレエ団)
ながせ ありな
永瀬愛莉菜 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)
にしだ さき
西田 早希 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)
たなか じゅんこ
田中 順子 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト)
かとう しずる
加藤 静流 (プリモルスク (沿海州) オペラ・バレエ劇場ソリスト) ◆
てらだ みどり
寺田 翠 (ノボシビルスク・バレエ団ソリスト)
おおかわ こうや
大川 航矢 (ノボシビルスク・バレエ団ソリスト)
ふくだ こうへい
福田 昂平 (ノボシビルスク・バレエ団 コール・ド・バレエ)
たくだ
多田さやか (クラスノヤルスク歌劇場バレエ団リードソリスト) ※
つちや ちとせ
土屋千登世 (クラスノヤルスク歌劇場バレエ団ソリスト)

にしぐち み き
西口 実希 (エカテリンブルク歌劇場バレエ団プリンシパル) ※
てらだ ともは
寺田 智羽 (エカテリンブルク歌劇場バレエ団ソリスト)
くわばら まんな
桑原 万奈 (タートルスタン国立カザン歌劇場バレエ団セカンドソリスト)
かなざしじょう たろう
金指承太郎 (サマーラ国立歌劇場)
いわた もりひろ
岩田 守弘 (ニジニノブゴロド国立歌劇場芸術監督)

【ウクライナ】

ながさわ み え
長澤 美絵 (キエフ・クラシック・バレエ)

【ジョージア】

たかの ようねん
高野 陽年 (ジョージア国立バレエ団リーディングソリスト) ※
かんざき かい
神崎 開 (ジョージア国立バレエ団ソリスト)
よこやま るい か
横山 瑠華 (ジョージア国立バレエ団ソリスト)

【ベラルーシ】

まちやま たかとし
待山 貴俊 (ベラルーシ国立ポリショイ劇場バレエ団プリンシパル) ※
くらち たろう
倉知 太朗 (ベラルーシ国立ポリショイ劇場バレエ団ソリスト)

【オーストラリア】

こんどう あ こ
近藤 亜香 (オーストラリア・バレエ団プリンシパル) ※
ねもと り な
根本 里菜 (オーストラリア・バレエ団ソリスト)
やまだ ゆうみ
山田 悠未 (オーストラリア・バレエ団コリフェ)
ありむらかり な
有村花梨菜 (オーストラリア・バレエ団コール・ド・バレエ)
わたなべ あや
渡邊 綾 (オーストラリア・バレエ団コール・ド・バレエ)
のむら ちひろ
野村 千尋 (ウエスト・オーストラリア・バレエプリンシパル) ※
よしだ ね ね か
吉田合々香 (クイーンズランド・バレエ シニアソリスト)
いわもと こうへい
岩本 弘平 (クイーンズランド・バレエ シニアソリスト)

【ニュージーランド】

たにがいと
谷垣内まゆ (ロイヤル・ニュージーランド・バレエ団プリンシパル) ※
くすかみ きひろ
楠神 貴大 (ロイヤル・ニュージーランド・バレエ団ソリスト)

【韓国】

おおた ありか (ユニバーサル・バレエ コール・ド・バレエ)
太田 有花
ながおか ゆな (ユニバーサル・バレエ コール・ド・バレエ)
長岡 佑奈

【香港】

えがみ ゆう (香港バレエ団バレエマスター)
江上 悠
さわい れいな (香港バレエ団コリフェ)
澤井 玲奈

【シンガポール】

うちだ ちひろ (シンガポール・ダンス・シアター プリンシパル) ※
内田 千裕
なかむら けんや (シンガポール・ダンス・シアター プリンシパル) ※
中村 憲哉

(リスト作成協力：高橋森彦)

一般社団法人 日本バレエ団連盟

1968年、日本のバレエ界と文化庁を結ぶパイプラインとして「連絡協議会」が組織された際、今後のバレエ界の発展のために自由に討議する場を作ろうという声が上がリ、1971年にスターダンサーズ・バレエ団、チャイコフスキー記念東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団の3団体により「東京バレエ協議会」が結成された。後に東京シティ・バレエ団が加わり、以降バレエ団の枠を超え共通する諸問題に連携して取り組んできた。

2014年9月、東京バレエ協議会4団体に新たに井上バレエ団、小林紀子バレエ・シアター、貞松・浜田バレエ団、法村友井バレエ団が正会員、新国立劇場バレエ団が準会員として加わり「日本バレエ団連盟」が発足。プロフェッショナル・バレエ団を統括する全国組織として、日本バレエ界の更なる発展とその魅力の発信に努めている。

2019年度（令和元年度）次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
「新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成」報告書



2020年3月発行

編集発行：一般社団法人 日本バレエ団連盟
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2階
Tel: 03-6279-4771 Fax: 03-6279-4772
URL: <http://japan-ballet.com/>

執筆：阿部さや子、廣瀬智子（五十音順）
印刷／製本：株式会社インフォテック

本報告書の全部または一部を、著作権法で定められている範囲を超え、無断で複製・転載・公衆送信等を行うことはできません。

非売品